

あべともこニュース

市民の声が届く、社会と政治の実現に向けて

◆市民の勝利！3補選、8時当確。

4月28日、“政治とカネ”問題で注目されていた3つの補欠選挙、20時早々に立憲民主党候補に当確が出て、まっとうな政治を求める声による3連勝となりました。

東京15区では、新人の酒井菜摘氏。島根1区は、元職の亀井亜紀子氏が当選。長崎3区は、現職の山田勝彦氏が衆院比例議席を辞して立候補し、当選しました。

自民党は、岸田総理が二度も応援に行ったものの、“保守王国”とされる島根で議席を失いました。東京15区は、自民党議員の買収問題により実施された選挙ですが、9人が出馬するという大混戦に加え、選挙妨害など目にあまる行動をした候補者もあり、民主主義が問われる選挙でもありました。通常国会会期末まで、あと二ヶ月、問題法案の強引な成立を許さず、皆さんと共に政権交代へ邁進します！



衆議院議員あべともこ
プロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
当選8回、東京大学医学部卒業、
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、
ボランティアスタッフ募集

◆原発避難計画は、絵に描いた餅

元旦に発生した能登半島地震を受けて、4月18日の原子力問題調査特別委員会での原発事故時の避難計画について質問しました。

原発事故が発生した際、原発から5キロ圏内は、予防的に避難。30キロ圏は、屋内退避となつています。けれども志賀町では放射線防護施設とされた建物でも、地震で窓ガラスが壊れて、屋内退避場所が確保できない状態でした。

各自自治体は防災計画を作っても、機能するかどうかこそが問題です。地震・自然災害と原子力事故の複合災害では、到底住民を守れない事は明らかです。



志賀町武道館では、窓ガラス破損

◆人道援助コングレス東京

4月23日、国境なき医師団・赤十字国際委員会共催「人道援助コングレス東京」にパネリストとして参加。この間の超党派「人間の安全保障外交の推進を考える議員有志の勉強会」の取り組みなど、国会内活動について報告。

第五回目となるコングレスでは、「人道援助の危機に立ち向かう」をテーマに、業界・世代も違う8名の方と討論。パレスチナ・ガザ地区への攻撃が、子どもや女性、非戦闘員だけでなく、支援に従事する国際関係団体職員へも及んでいる深刻な事態が指摘されました。

ジュネーブ条約が定める、「苦しむ人を敵味方の区別なく救護する。」という“人道”が守られていない中、政治の役割が問われています。

まずは、国会内にパレスチナでの非人道的な現状を伝えること、そして人道外交を更に進めるとともに、停戦に向けての国会決議を上げるべく、引き続き取り組み事をお伝えしました。

